# 令和5年度 指定管理者の管理運営に関する評価シート

1. 指定管理者(施設)の基本情報

<u> </u>	
施設名	箕面市立船場図書館
指定管理者	国立大学法人 大阪大学
指定期間	令和3(2021)年5月1日~令和8(2026)年3月31日
施設概要	船場図書館
市支出額	なし

2. 事業の実施状況

<u>_2.事業の実施状況</u>	
図書館サービス業務	資料の貸出・返却・予約・利用者登録等の窓口業務を 行った。箕面市立図書館蔵書の貸出冊数:267,186冊
レファレンス業務	5分以内:907件、5分以上:182件
蔵書管理業務	利便性や分かりやすさの観点から、日常的な書架整理、書架見出しや書架サインの整備に努めた。また、不明図書の調査、破損図書の修理・買い替え、保存期限が過ぎた雑誌の廃棄・移管処理を市内他館に確認しながら行った。
図書館情報システム運用管理業務	個人情報の取り扱いに留意した上で、図書館情報システムを適切に運用した。なお、委託業者を含め職員全員が個人情報保護に関する研修を受講し、確認テストを受けた(年1回実施)。
カフェスペース運用管理業務	館内のカフェ「ALOHA CAFE Pineapple みのお船場店」について、利用者が快適に利用できるように運用管理している。
施設維持管理業務	施設設備の日常及び定期的な維持管理により施設の安全確保に努めている。
子ども読書活動の推進	2階にぎやかエリアにある季節の絵本展示を毎月行った。また、吹抜け階段下とにぎやかエリアに児童図書展示コーナーを設けて絵本やヤングアダルト向けの9件の図書展示を行った。また、近隣の小学校の見学対応を3件行った。
お話し会事業の実施	乳幼児向けのおはなし会を定期的に行い、20回延べ244人(保護者含む)の参加があった。また、地域の読み聞かせボランティアの協力により、子ども向けの「おはなし会スペシャル」(1回・参加者49人(保護者含む))、大人向けのおはなし会(2回・参加者計35人)を実施した。

大阪大学との連携	① 大阪大学教員・学生の企画による外国文化に触れるイベントを、子ども向けに2件、大人向けに2件実施した。 ② 船場生涯学習センターで開催された大阪大学教員による講座に関連する図書の展示を、4件実施した。		
地域の関連団体・住民との連携	① 箕面市国際交流協会の職員と意見交換を行い、連携して船場図書館での外国語絵本の読み聞かせを実現する方向で話を進めていくこととなった。 ② 新たな市民ボランティアと連携し、大人向けのおはなし会を2回実施した。		
図書館における事業を展開する人材 育成を目的とした研修の実施	8月31日に職員研修「図書館の危機管理〜利用者対応を中心に」を船場図書館で実施した。大阪大学附属図書館職員、箕面市立図書館職員等合わせて43名が参加した。図書館利用者の権利、問題行動の事例やそのリスクマネジメント・対処法について、関東学院大学教授の講演に続き、グループワークを実施した。		
開館時間の延長(自主事業)	平日は午前9時から午後8時まで開館を行った。		
開館日の拡大(自主事業)	月曜日も開館した。		
大阪大学蔵書の利用(自主事業)	大阪大学蔵書の市民への貸出冊数は2,305冊。		
教育研究活動の実施(自主事業)	図書館の業務に支障のない範囲において、大阪大学の 教育研究活動を行った。		
船場生涯学習センターにおける図書 館利用講座(自主事業)	図書館職員による無料の生涯学習講座を、船場生涯学習センターで4件実施した。 新規プログラムとして「読みたい本を探そう-図書館員の検索術」「図書館でわがまち探訪-「地域資料」を使ってみよう」を実施した。「図書館でわがまち探訪」については、箕面市民生委員会からの依頼により、1月に同委員会協議会において、同じ内容の講演を実施した。		
繁忙期の自習専用席を船場生涯学習 センターに設置(自主事業)	箕面市在住・在学の中学生・高校生向けの自習専用席を3階に設けているが、大阪大学の試験期間中および中学生の夏休み期間については船場生涯学習センターの部屋を使用した。その経費は大阪大学が負担した。開館後3年間の検証の結果、上記の時期について図書館内の閲覧席数の不足による問題が起こらなかったため、2024年度からは通年で図書館に自習専用席を設置することとした。 なお、自習専用席について1月から席数を8席増加した。		
多文化資料(児童向け)の整理・収 集(自主事業)	令和4年度に箕面市予算で購入した英語並びに児童向け アジア諸言語等の図書の整理を進め、提供を開始し た。あわせて箕面市国際交流協会等へ所蔵に関する情 報提供を行った。 また、大阪大学学生の学習教材並びに外国にルーツの ある子どもたちへの支援等今後の事業展開を視野に、 大阪大学蔵書として試行的にアジア4言語の児童向け 図書を収集した。		

学校図書館を窓口とした大阪大学外 国学図書館資料の貸出サービスを開 始(自主事業)	箕面市立学校図書館司書連絡会からの要望により、日本語の読解が困難な児童・生徒のために、箕面市の配本便を使用した学校図書館に対する貸出サービスを開始した。 なお、1月に司書連絡会研修において、大阪大学職員が「外国語の児童書の探し方」について講習を行った。
図書展示(自主事業)	市立図書館、大学図書館の蔵書による展示を32件実施した。 10月から11月にかけて国立台湾文学館の協力により 「台湾文学日本語翻訳書籍展」を実施した。 大阪大学外国語学部主催のイベント、箕面市文化芸能 劇場公演に関連した展示も行い、連携を深めることが できた。

## 3. 利用者の満足度

#### (1)利用者アンケートの状況

# アンケートの結果概要

設備・運営への満足度(項番3、4)の各項目で回答者の9割以上から「満足」「おおむね満足」の評価をいただきました。 今後望むこと(項番5)は、資料の充実、施設環境の整備、大学との連携事業の順となっています。自由記述欄では、これらの項目を中心として、具体的なご希望をいただきました。総合的な印象(項番6)では回答者の9割以上から「期待していた以上」「期待どおり」との評価をいただいています。自由記述欄では、施設がきれい・広い・快適という内容が最も多く、続いて資料が充実していると感想をいただいています。

## (2)利用者等の意見交換会の状況

#### 意見交換会の結果概要

実施対象外施設のため、意見交換会は実施していません。

## (3)利用者からの意見を反映させる取り組み

# 取り組みの実施状況

意見を整理して、すぐに実施できるものは実施いたします。 市立図書館全体の内容に関する部分は中央図書館に伝えます。 また、工事を伴う設備やアクセス改善については、中央図書館を 通じて市に要望を伝えます。

イベント、図書展示については、いただいたご意見を参考に工夫してまいります。

#### 4. 収支状況

別紙収支報告書のとおり

### 5. 指定管理者の自己評価

- ・開館して3年が経ちましたが、利用者数、貸出冊数ともに開館当時の水準を維持しています。
- ・大阪大学との連携については、大阪大学の教員・学生が企画したイベントを4件行うことができました。子ども向けとしては、フードロス対策の活動をしている大阪大学学生サークルメンバーによる SDGsを考えるイベントと、ベトナム語専攻の学生が日本語に翻訳した紙芝居の読み聞かせ、クイズ 等の文化紹介イベントを実施し、大変好評でした。また、箕面市国際交流協会職員との意見交換での「在日期間が長い外国ルーツの方向けの日本文化紹介講座があるとよい」という提案に基づき、大阪大学日本語日本文化教育センターの教授による講座を実施しました。
- ・船場生涯学習センターにおける無料の図書館利用講座は、昨年度実施し好評だった「図書館活用法」に加えて、「読みたい本を探そう-図書館員の検索術」「図書館でわがまち探訪-「地域資料」を使ってみよう」という講座を新たに行いました。地域資料を用いた調査方法紹介講座については箕面市立中央図書館・箕面市立郷土資料館の職員に聞き取りを行い、構成したものです。多くの方の関心を集め、申込者も多く、更に、箕面市民生委員会から「委員会の会合で同内容の講演を行ってほしい」との依頼があり、150人を対象に実施しました。
- ・大阪大学附属図書館主催の職員研修「図書館の危機管理〜利用者対応を中心に」を船場図書館で実施しました。船場図書館勤務の職員のほか、豊中・吹田キャンパス勤務の大阪大学職員と箕面市立図書館職員も参加しました。関東学院大学教授による講演の後、実際に対応した事例の共有とその対応をグループで検討・発表し、利用者対処法について理解を深めることができました。
- ・令和6(2024)年3月に北大阪急行電鉄の箕面船場阪大前駅が開業し、船場図書館へのアクセスがしやすくなったため、利用者の増加が見込まれます。引き続き市民の方に満足いただけるように資料の充実、施設の整備に努めます。同時に、この船場図書館が、多言語・多文化に触れる場、大阪大学の学術情報に触れる場、大阪大学の教員・学生が社会と連携して活動する場として機能するよう、大阪大学や地域の関連組織と協力し、多言語・多文化に関する資料の整備や提供、イベントや展示などを行っていきます。

# 令和5(2023)年度箕面市立船場図書館収支報告書

**《収入》** (単位:円)

科目	収入額	摘要	備考
施設利用料金	777,600	図書館内カフェ施設利用料金	777,600 厨房面積27㎡に月単価
			2,400円を乗じた額
			=64,800円/月
学内経費による補填等	76,441,293	大阪大学経費	76,441,293
合計	77,218,893		

## 《支出》運営に係る直接経費に関するもの

(単位:円)

科目	支出額	摘要		備考
			C 401 010	MD 3
建物維持管理費	21,366,635	複合公共施設共通部分維持管理費	6,491,012	
		船場図書館専用部分維持管理費	14,476,653	
		全熱交換機中性能フィルター交換作業	398,970	
清掃業務費	8,565,480	清掃業務費	8,565,480	
光熱水料等	22,741,717	電気料	21,858,704	カフェ使用分を除く
		上下水道料金	883,013	カフェ使用分を除く
窓口等運営業務費	17,160,000	窓口等運営業務外部委託費	17,160,000	
警備業務費	2,992,440	警備業務管理委託費	2,992,440	
通信運搬費	567,994	放送受信料(NHK)	7,102	
		郵便料	346,042	
		電話	166,043	
		その他	48,807	物品納品送料など
保険料	5,800	指定管理者賠償責任保険	5,800	
借料	201,300	船場生涯学習センター自習室借料	201,300	
修繕費	950,400	3,4階ロールスクリーン取付工事	357,500	
		1階集密書架キーロック取付工事	482,900	
		1階集密書架収容力改善工事	110,000	
消耗品費	2,063,916	ブックサポート	477,400	
		その他	1,586,516	
その他	603,211	複写機契約料	523,387	
		観葉植物設置業務料	52,800	
		産業廃棄物処理	27,024	
合	† 77,218,893			

<sup>※</sup> 大阪大学職員の人件費、その他間接的に係る経費は含まない。